

実施計画事業名		教育研究所運営事業		評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		教育部 学校教育課		課長(主幹)名	青山 等		
総合計画体系	分野	1	教育・文化				
	政策	2	時代に即した学校教育の推進				
	施策	1	生きる力をはぐくむ教育を充実します				
	関連施策						
現状と課題	本市においては、昭和26年に教育研究所を設置し、以来、次の事項を所管してきた。なお、その後同研究所の中に教育相談所を設置して、相談機能の強化を図ってきた。 ① 教育に関する専門的及び技術的事項の調査研究に関すること。② 教育関係職員の研修に関すること。③ 教育資料の収集、刊行及び配布に関すること。④ 教育相談及び指導に関すること。						
目的	子どもたちの姿を的確に捉えるとともに、その将来のあるべき姿や望ましい成長が遂げられるよう、確かな学びと健やかな心・体を伸ばすための教育活動の在り方を、各学校と共に追究する。またそのことを通して教師の資質・能力の向上を目指す。						
5ヶ年開の施策	今日的課題解決を目指し、学校現場と連携を図りながら、実践に役立つ研究の推進及び授業力・学級経営力の向上に資する資料等の提供や研修講座の実施、研究所だよりの発行など。						
成果指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度
	研究所所員会議の開催回数		回	目標	20	20	20
活動指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度
	研修会開催回数		回	目標	22	22	22
活動指標	説明		研修会を開催した回数		実績	20	19
	説明		研究所所員会議を開催した回数		実績	4	4
活動指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度
	ALTプロジェクト会議		回	目標	4	4	4
活動指標	説明		会議を開催した回数		実績	4	4
	説明				実績	-	-
活動指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度
	説明				実績	-	-
事業費の実績	単位		21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)		千円	6,518	6,865	7,102	
事業費の実績	国庫支出金		千円	0	0		
	道支出金		千円	0	0		
	起債		千円	0	0		
	その他		千円	0	0		
	一般財源		千円	6,518	6,865	7,102	
この事業にかかる職員数		人/年	0.16	0.11	0.11		
人件費(B)		千円	1,108	747	747		
計(A+B)		千円	7,626	7,612	7,849		
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コスト効率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 引き続き教育に関する専門的及び技術的事項の調査研究に努めるとともに、教育関係者の研修など各種事業を実施する。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--